

**平成13年度
当初予算（案）の事業概要**

杉並区

目 次

1	財政規模	1
2	歳入の概要（一般会計）	2
3	歳出の概要（一般会計）	3
4	実施計画事業の予算化	4
	▪ 4つの緊急プラン	5・6
	▪ 6つの推進プラン	7 9
	区民と行政の協働	9
5	主な投資事業	10
6	「実施計画」事業以外の新規施策等	10 12
7	主な事業の内容	
	▪ 区民と創造する「すぎなみシップ」	
	・ 区民と選ぶまち自慢	13
	・ NPO等の支援と協働推進	13
	・ 杉並公会堂の改築に向けて	14
	▪ 環境先進都市を目指して	
	・ 環境学習の場を提供	15
	・ 環境先進都市に向けた行動	16
	▪ 自然豊かな魅力あるまちを目指して	
	・ みどりの出発点として	17
	・ みどりを育て、未来に残そう	18
	▪ 誰にでもやさしいまちをつくるために	
	・ 支え合い、安心して共に生きるまち	19
	・ 子どもをはぐくむまち	20
	▪ IT推進による行政・地域の情報化	
	・ 電子区役所の構築	22 24
	・ 区民向けIT学習講座	25
	・ 情報教育の推進	25
	▪ 「みどりの産業」で地域の活性化を	
	・ 女性起業家を支援します	26
	・ 「みどりの産業」の育成・支援	26 27
	▪ 学校に活力をうむ教育改革を進めるために	
	・ 地域に開かれた学校を目指して	28
	・ 適応指導教室の充実	29
8	「スマート杉並計画」の実施	30
9	特別会計	31・32
10	参考資料（平成13年度財政計画）	33・34

平成 13 年度当初予算（案）の事業概要

景気の緩やかな回復基調にあっても、日本経済の先行きは不透明な状況にある中で、平成 13 年度は、区民参加のもとに策定した「21 世紀ビジョン」の具体化を図る「杉並区基本計画」をスタートさせる初年度にあたることから、計画事業を確実に予算化するとともに、「スマートすぎなみ計画」に基づく行財政改革を一層推進しつつ新たな行政需要にも的確に対応するという観点に立っての予算編成です。

1 財政規模

13 年度財政計画規模	1450 億 4800 万円
12 年度当初計画額	1410 億 3900 万円

予算額ベースでの比較

（単位：千円）

	13 年度当初予算	12 年度当初予算	対 前年
一般会計	144,158,000	140,188,000	102.8%
国民健康保険事業会計	37,646,789	34,184,166	110.1%
老人保健医療会計	47,865,715	44,445,285	107.7%
用地会計	9,267,152	779,559	1188.8%
介護保険事業会計	19,147,837	16,974,499	112.8%
合 計	258,085,493	236,571,509	109.1%

○平成 12 年度の当初計画額と比べ、40 億 900 万円、2.8%の増、当初予算額では 39 億 7000 万円、2.8%の増となります。

12 年度に（仮称）杉並南中央公園の用地取得を行うにあたり、用地会計を活用しているため、12 年度当初に比較し、一般会計、用地会計とも増となっています。なお、用地会計から一般会計への買い戻しは 13 年度から 16 年度までの 4 年にわたって行います。

12年度当初予算に計上した基金の廃止・新設のための「基金の再構築」にかかる予算額 68 億 6200 万円を差し引いた規模と、13年度計上した（仮称）杉並南中央公園の用地取得関連経費 85 億 4300 万円を除いた規模を比較した場合、13年度は財政計画規模で 23 億 2800 万円、1.7%の増となり、当初予算規模で 22 億 8900 万円、1.7%の増となります。

2 歳入の概要（一般会計）

（単位：百万円）

歳入区分	13年度 当初計画	12年度当初計画	
			増減率%
一般財源	102,274	107,231	4.6
特別区税	55,177	53,848	2.5
特別区財政交付金	27,500	26,863	2.4
繰越金等（注）	2,970	10,161	70.8
減税補てん債	1,400	1,500	6.7
特定財源	42,774	33,808	26.5
特別区債	6,480	700	825.7
合計	145,048	141,039	2.8

注 12年度の繰越金等には「基金の再構築」経費 68 億 62 百万円が含まれています。

特別区民税

551 億 7788 万 2 千円で、12年度当初計画額と比べ、13 億 2953 万 9 千円、2.5%の増となりました。しかし、12年度決算見込額と比較すると、ほぼ同規模となります。

景気の緩やかな回復の中で区民税収が下げ止まる兆しも見られますが、杉並区の税収にとって大きな影響を与える特別徴収納税義務者数が減少しつつあり、今後の税収見通しは予断を許さないものとなっています。

○地方特例交付金と減税補てん債

恒久的減税にかかる財源補てん措置としての地方特例交付金は、51 億 6100 万円で、12年度と比べ、1 億 1700 万円、2.3%の増となります。

減税補てん債は、発行限度額は 18 億 500 万円と見込みましたが、財政健全化を目指す姿勢を堅持するため、発行額の圧縮を引き続き行い、4 億円を

圧縮し 14 億円の予算計上を行いました。

○特別区財政交付金

13 年度においては、都区財政調整交付金の原資である住民税法人分が、平成 12 年度の税収増をベースに前年度当初見込みに比較して大幅な伸びが見込まれ、23 区全体の財調交付金は、12 年度当初フレーム対比で 463 億円程度の増が見込まれます。

○基金

13 年度は、実施計画にそって計画的に「施設整備基金」からの繰り入れを行っています。

* 施設整備基金充当額 19 億 4900 万円

○特別区債

施設建設に充てる特別区債の発行は、(仮称)杉並南中央公園用地取得に関連した区債発行を行うことにより、発行額は 64 億 8000 万円、12 年度当初予算と比べ 57 億 8000 万円、825.7%の増となります。

* 起債充当事業 64 億 8000 万円

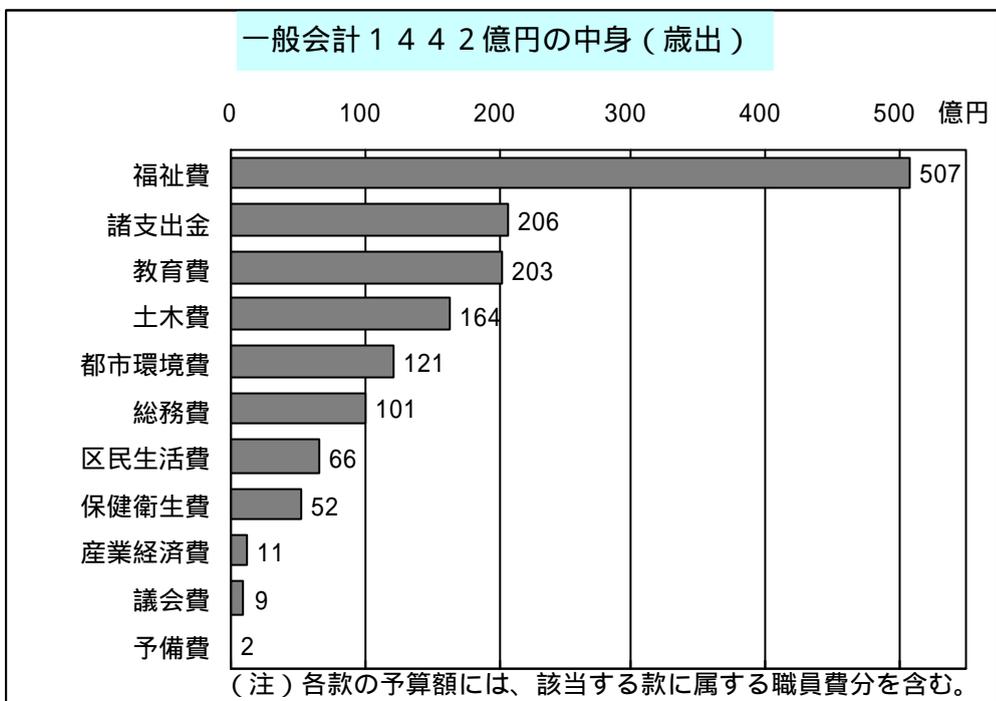
3 歳出の概要 (一般会計)

(単位：百万円)

歳出区分	13 年度当初	12 年度当初	増減率%
職員人件費	43,916	44,335	0.9
公債費	9,979	9,265	7.7
既定事業	74,584	69,700	7.0
新規・臨時事業	1,162	11,452	89.9
投資事業	14,517	5,436	167.1
歳出予算計	144,158	140,188	2.8
財源保留額	890	851	4.6
合計	145,048	141,039	2.8

事業数 計 4 5 8 事業
 既定事業 4 0 7 事業

新規・臨時事業 23事業
 投資事業 28事業



4 実施計画事業の予算化

「杉並区 21 世紀ビジョン」に描かれた将来像と目標を実現するため、新しい行政計画（10 年間の基本計画と 3 年間の実施計画）に定めた施策を確実に予算化することに努めました。

実施計画の当初予算計上額は、205 億 900 万円

予算計上率 91.8%

(単位：千円)

目 標	計 画 額	当初予算額	差引増減
1 水辺をよみがえらせ みどりのまちをつくろう	12,959,000	11,835,000	1,124,000
2 やさしさを忘れず共に 生きるまちをつくろう	6,125,000	5,608,078	516,922
3 みどりの産業で元気 のでる都市をつくろう	108,000	81,371	26,629
4 未来を拓く人をつく ろう	3,013,000	2,859,361	153,639
5 ビジョンの実現に向			

けて	135,000	126,138	8,862
合 計	22,340,000	20,509,948	1,830,052

基本計画では、区民が創る「みどりの都市」杉並の実現に向けて10の重点プラン(目標と主な事業)を掲げて、このうち、震災への備え、高齢社会への備え、教育改革、情報化への対応の4課題は、区財政が厳しいなかでも早急かつ重点的に対応すべき「4つの緊急プラン」と位置付けています。

4つの緊急プラン

まちの安全性を高め、震災から杉並を守る

(仮称)防災対策基本条例の制定

- ・区民、事業者、行政の果たすべき役割と責務を明らかにし、総合的な防災対策を定める条例を制定

地域公園の整備 85億4346万円

- ・(仮称)杉並南中央公園の用地取得経費及び設計の委託等

不燃化まちづくりの推進

- ・建物の不燃化助成を進め、防災性の向上を図る

橋梁の耐震補強

- ・災害時における避難路確保のため、啓開道路等に架かる橋梁を補強する

学校の耐震改築・補強 16億9573万円

- ・耐震改修(小) 3校 馬橋・沓掛・済美
- ・耐震改修(中) 4校 松ノ木・和田・天沼・向陽

- ・泉南中改築、西宮中改修

大型消火器の整備

- ・初期消火など防災行動力の向上を図るため、大型消火器を整備する

安心のセーフティ・ネットで福祉のまちづくりを進める

在宅介護支援センターの整備

- ・基幹型センター4所開設(区役所、3福祉事務所)
- ・地域型センター3所開設(堀ノ内松ノ木・上荻窪・成田出張所跡)

高齢者等自立度アップ支援

- ・寝たきり予防を効果的に進めるため、退院情報の把握、早期のリハビリ、訪問保健指導の実施、地域で自主的に活動するグループへの助成など

高齢者グループリビングの支援

- ・支援プログラムの作成、ボランティアによる支援体制づくりなど

特別養護老人ホームの整備 4億959万円

- ・浴風会 第三南陽園への建設助成
痴呆性高齢者グループホームの整備
- ・痴呆性高齢者が、小人数で共同生活するためのグループホーム建設助成
知的障害者通所授産施設への助成
- ・済美職業実習所の改築経費の助成
心身障害者ホームヘルプサービスの充実
- ・障害者の在宅生活を支えるため、生活実態等に合わせてヘルパー派遣など
心身障害者ショートステイの拡充
- ・医療的ケアが必要な在宅の重度障害者のショートステイなど
地域福祉活動立上げ支援
- ・NPO等に対し活動の立上げや運営経費を助成し、地域福祉の充実を図る
区営住宅等の維持・改善
- ・住宅に困窮する区民のために、区営住宅の改善、高齢者専用居室の借上げ、
高齢者アパートのあっせんを行う
- ・区営住宅にエレベーターを設置 1 団地
- ・区営住宅の集会室を地域開放 4 団地
多目的集会施設の整備
- ・旧出張所施設を活用し、区民が多目的に利用できる集会施設を整備

学校に活力をうむ教育改革を進める

教育改革アクションプランの策定・推進

- ・杉並の教育を考える懇談会の議論を踏まえて、教育を実践的に改革するアク
ションプランを策定
総合学習の充実などによる特色づくり
- ・総合的な学習の時間などのさまざまな活動を通し、個性や創造的な能力を伸
ばすことができる学校づくりを支援
学校評議員制度の導入
- ・保護者や地域のひとびとが学校の運営に参画できる制度を小・中全校に導入
する
教育施設パソコン室の区民開放
- ・区民の情報学習のニーズに応えるため、小・中学校及び済美教育研究所のパ
ソコン室を地域に開放し、有効活用する
適応指導教室の充実
- ・旧和田出張所を改修して適応指導教室を増設し、不登校の子どもたちに対し
て学校復帰への援助を行う

ITを活用し、行政・学校・地域の情報化を進める

行政情報化の基盤整備

- ・情報通信ネットワークの整備、電子計算システムの再構築、職員の情報活用能力向上などの基盤整備
- ・文書管理システムの構築（例規集・個人情報登録業務のデータ化）
インターネット区政モニター
- ・インターネットを利用した区政モニター、区民意向調査の実施
学校インターネットの推進
- ・小・中学校インターネットの全校配備 新規 55 校
パソコンの整備
- ・小・中学校の機器更新を行い、一人 1 台のパソコンを順次整備する

6つの推進プラン

環境先進都市をめざす

特色ある公園づくり

- ・花による地域の名所づくり 3 園（井草森・梅里・玉川上水）
- ・木になる巡り会いコースづくり 10 園
- ・自然との話し合いコースづくり 5 園
- 学校ビオトープ（動植物の生息空間）の設置・校庭の緑地化
- ・小学校 2 校、中学校 1 校で校庭整地と一体的に整備する
- 一般廃棄物処理基本計画の改定
- ・「21 世紀ビジョン」との整合を図り、廃棄物の発生抑制、資源の再利用・リサイクル及びごみの適正処理を促進するため、必要な改定を行う
ごみ会議の開催
- ・行政、事業者、区民がごみ問題の解決や循環型社会づくりのために、共に考え、意見交換し、実践につなげる
ごみ減量運動の推進
- ・マイバッグの普及促進
- ・省資源、ごみゼロを目標にして普及促進を図る
資源ごみの分別促進
- ・廃棄プラスチックモデル回収及び再資源化の促進
- ・ペットボトルの回収拠点の増を図る
(仮称)環境・リサイクルセンターの建設
- ・環境・リサイクルの情報収集・提供、活動支援の総合的な拠点

「健康都市」のさきがけとなる

健康都市杉並の推進基盤整備

- ・健康都市杉並ファロの開催、健康都市白書の作成、健康都市推進区民会議の開催など

（仮称）歯科保健医療センターの設置運営

- ・障害者(児)歯科診療に、かかりつけ歯科医の相談・紹介等の機能を加え、発展的に改組する。

高齢者等の食生活安全確保

- ・全給食提供施設に対するHACCP（危害分析・重要管理点）方式による自主的衛生管理の導入

健康で快適な室内環境の確保

- ・化学物質等の調査、シックハウス症候群等室内衛生に関する情報提供の充実
- 健康づくり推進員活動
- ・区民の健康づくりを推進するため推進員活動や自主グループ活動を支援

子育てを応援するまちをつくる

保育園改築・改修 1億3775万円

- ・上高井戸団地再生計画と併せた高井戸保育園の改築
 - ・四宮保育園の耐震補強に向けた耐震補強改修の設計を行う
- #### 駅前保育
- ・旧西荻サービスコーナー及び隣接する居室を使用し開設
 - ・少子化対策臨時特例交付金を活用して改修し、運営は委託
- #### グループ保育の実施
- ・旧桃井児童館を改修して、NPO等に委託
- #### 子ども家庭支援センター事業
- ・子どもと家庭の総合相談機関として運営し、福祉、保健、医療、教育分野と連携しながら子育て相談、いじめ、虐待問題などについて対応
- #### 地域子育て支援の充実
- ・地域の子育て機能の回復を図るため、家庭・学校・行政機関等が児童館を核として、子育てのためのネットワークを組織する
- #### 児童館の有効活用（子育てサロン）
- ・乳幼児を持つ保護者による子育てグループ活動の場を提供する
 - ・子育て中の親子が集い、仲間づくりがしやすい環境を整える
- #### 児童館の改築 1億6853万円
- ・荻窪北児童館の改築を13年度から15年度にかけて、西福祉事務所等との合築で実施
 - ・荻窪児童館改築（都営西田町第三住宅建替計画に伴う）の実施設計を、都へ

の委託事業として実施

さまざまなひとびとが活躍する活力のあるまちをつくる

魅力ある商店街づくり助成

- ・アーケードの改築、カラー舗装などの施設整備やイベント事業に対し助成
商店街の情報化支援
- ・ITを活用し、きめ細かなサービス提供ができるよう、カード化事業やホームページ開設など情報化を支援
生涯学習・スポーツの情報提供の充実
- ・生涯学習・スポーツを主体的に取り組むために必要な情報を収集・提供する
生涯学習総合ホームページ開設の検討
図書館情報化の推進
- ・インターネットを活用して書誌情報の検索などができるサービスを実施

地域活動を支援し豊かな地域社会の再生をめざす

NPO等の支援と協働推進

- ・(仮称)地域活動支援条例の制定、地域活動支援計画の推進など
地域活動支援センターの設置・運営
- ・旧高円寺中央出張所を改修して活用し、地域で活躍するボランティアなどに活動の拠点となる場と情報を提供する
区民会館の改築整備
- ・方南会館を改修し、区民の集会の場として利便性を高める

快適な都市基盤を整備する

まちづくり基本方針の見直し

- ・「21世紀ビジョン」が示すまちの将来像を具体化するために、まちづくり基礎調査を踏まえ、見直しを行う
荻窪駅周辺の整備
- ・整備計画策定に向けて、広場交通量調査の実施
- ・南北アクセス地下道設計及び南口地下通路設計
久我山駅周辺の整備
- ・駅周辺の安全性、利便性を高めるため、南北通路設置に向けて調査等を実施
都市計画道路の整備
- ・未整備の都市計画道路補助131号線、補助226号線の整備を進める
自転車利用総合対策の実施
- ・放置自転車のないまちをつくるために、行動計画の策定を進める

区民と行政の協働

(仮称)自治基本条例の制定

- ・区における自治の理念、区民の参画や区民と行政の協働の仕組みなどを明らかにするため、(仮称)自治基本条例の14年度制定に向けた検討
(仮称)まちづくり条例の制定
- ・区民主体のまちづくりを推進するため、まちづくりについて合意形成を図る手続きなどを定める(仮称)まちづくり条例の14年度制定に向けた検討
(仮称)地域活動支援条例の制定
- ・区民の地域活動を支援し、区民と行政の協働を推進するため、施策の基本的事項などを定める(仮称)地域活動支援条例を制定

5 主な投資事業

荻窪5丁目複合施設建設 (15年度まで) 7億8362万円

- ・西福祉事務所、荻窪北児童館、荻窪南第二自転車駐車場、消費者センター、
(仮称)環境・リサイクルセンター
- 高円寺南2丁目複合施設建設 (13年度まで) 5億177万円
- ・東福祉事務所、障害者集会施設
- 防災宿舎(男子独身寮)の建設 (13年度まで) 1億4128万円
- (仮称)杉並南中央公園の建設 (16年度まで) 85億4346万円
- 泉南中学校の改築・改修 (14年度まで) 9億4681万円
- 西宮中学校の耐震改修 (13年度まで) 1億7808万円

6 「実施計画」事業以外の新規施策等

(仮称)杉並ガイドブック

- ・平成14年度の区制施行70周年を記念して、わがまち杉並を紹介する、区民とともに作るガイドブック
- 区役所西棟9階バルコニー緑化
- ・屋上緑化の先駆けとして、緑化工事を試行する
- 区立保育園の園庭緑化
- ・試行として園庭の緑化を行う 1園
- ボランティア国際年推進事業

- ・ ボランティア国際年を推進するための事業を実施
- ・ 杉並ボランティアセンターでは、区民やボランティア団体とともに、ボランティア国際年キャンペーン事業を実施

区民事務所の設置・運営

- ・ 住民票等自動交付機 14 台設置
- ・ 税証明発行システムの開発
- 児童虐待予防対策
- ・ 虐待防止調整会議の開催、グループカウンセリング、児童虐待防止対策研修の実施など
- 乳幼児医療費助成
- ・ 所得制限の段階的廃止による対象者の拡充
- 福祉マンパワーの確保
- ・ 介護福祉士等修学資金貸付
- ・ 家族介護者 3 級ホームヘルパー養成講習受講助成
- ・ ほかに、2 級ホームヘルパー養成等の実施
- 杉並区介護保険サービス利用者負担助成
- ・ 対象者 保険料第一段階該当者（生活保護受給者を除く）と境界層該当者
- ・ 居宅サービス、施設サービスの利用者負担上限額を月 15,000 円から 3,000 円に引き下げる
- 風呂っと杉並
- ・ 公衆浴場を高齢者の集いと憩いの場として活用するために、必要な経費の一部を助成する
- ・ 公衆浴場バリアフリー化改修費・運営費助成 10 所
- 区立保育園等における給食食器の強化磁器食器への買い替え
- ・ 保育園 44 園、学童クラブ 46 クラブ、小学校 7 校、中学校 5 校で購入のほか、強化磁器食器の購入に合わせて必要により調理室一部改修
- 健康づくり協力店普及促進
- ・ 外食栄養成分表示等を行う「ヘルシーストリート」事業の新設
- アニメフェスティバルの開催
- ・ 「アニメの杜(もり)」構想を踏まえたアニメフェスティバルを 4 月 28 日～29 日に開催
- 杉並区商店会連合会 50 周年記念事業

- ・周年事業を助成するとともに、マイバッグの普及推進を図る
産業融資資金制度の拡充
- ・環境と共生する産業の育成も積極的に行うため、起業、創業支援の一環として、融資制度を拡充する
(仮称)エコ・メッセの開催
- ・環境シンポジウム、ISO取得記念事業等のイベントなどを開催し、環境先進都市の創造をめざす

学校最上階教室の扇風機設置

- ・全小中学校対象 小学校 352 室、中学校 122 室
障害児学級運営
- ・障害児学級の介助員の増、通常学級介助員の導入
済美養護学校教室数の不足解消改修
- ・入学見込児童数の増加に伴う 施設改修
中学校対抗駅伝
- ・12 年度に引き続き中学校対抗駅伝を開催
ロボットウィーク 2001
- ・未来の科学者をめざして、小中学生を中心にロボットづくりに挑戦
情報通信技術（IT）学習推進
- ・12 年度で整備したパソコン 375 台を活用
- ・国庫補助を活用して講習会を、区民 15,500 人を対象に開催

7 主な事業の内容

区民と創造する「すぎなみシップ」

区では、区民が自分の住むまちに誇りや愛着を持ち、ふれあいと参加の地域社会をつくるため、地域社会への貢献をめざす自主的な活動を支援していきます。また、自主的な活動が行いやすい環境を整え、支援する総合的な方策と仕組みをつくりま

【区民と選ぶまち自慢】

新しい杉並を再発見し、自分の住むまちに誇りと愛着をもつ事を目的として『（仮称）杉並ガイドブック』を区民主体でつくります。より多くの区民が参加をして、杉並の風景、自然、文化、歴史、産業、祭りなどの「杉並自慢」を探し出し、それを見れば一目で杉並を紹介できるようなガイドブックをつくっていきます。

杉並ガイドブック作成

- | | |
|--------|----------------|
| ・発行予定 | 平成14年度 |
| ・予算額 | 5,000,000円 |
| ・問い合わせ | 企画部広報課（内線1501） |

【NPO等の支援と協働推進】

区民の地域活動を支援し、区民と行政の協働を推進するため、施策の基本的事項などを定める「（仮称）地域活動支援条例」を制定し、豊かな地域社会の形成のために、まちづくりや環境、福祉、教育などの分野で活動している町会などの地縁的な組織やNPO、ボランティアを支援していきます。

「（仮称）地域活動支援条例」の検討・制定と「地域活動支援計画」の推進

- | | |
|--------|----------------------|
| ・予算額 | 2,052,000円 |
| ・問い合わせ | 地域振興課地域活動推進課（内線3784） |

地域活動支援センターの設置・運営

- | | |
|--------|---|
| ・設置内容 | 地域で活動するNPO・ボランティア活動の拠点となる場として、今年度末で廃止される高円寺中央出張所に地域活動支援センターを設置し、相談・助言などの多様なサービスを行う。 |
| ・予算額 | 19,008,000円 |
| ・問い合わせ | 地域振興部地域活動推進課（内線3784） |

【杉並公会堂の改築に向けて】

区では、平成11年6月以降、凍結されている杉並公会堂の改築について、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）導入の可能性を調査検討します。

PFIは、公共施設などの建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法であり、これにより、事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指すものです。

PFI調査研究

- | | |
|--------|---|
| ・事業内容 | 杉並の文化の発信拠点となる公会堂について、PFI手法が適用できるかどうか資金、技術、法制度などの観点から調査・検討を行う。 |
| ・予算額 | 11,439,000円 |
| ・問い合わせ | 生活経済部管理課（内線3755） |

環境先進都市を目指して

区が今、重要と考えている施策のひとつが、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会とするため、廃棄物が限りなくゼロに近いゼロエミッション型社会に向けて、区民、事業者、行政が共に考え、実践していくことです。

昨年来、区が導入を検討している「レジ袋税」も、自らの行動に警鐘を鳴らすものです。また、住宅地としての環境を守るために大型店舗の出店を制限する区独自条例も制定しました。新年度では、生活環境の現状や将来を広く区民に理解してもらうため、（仮称）エコ・メッセを開催するなど環境学習の場を提供し、環境先進都市「すぎなみ」を目指します。

【環境学習の場を提供】

区の環境がどのような現状にあるかを学習できるよう、目で見て学べる環境マップをインターネット上に作成します。また、地域のなかに環境への配慮行動が定着するよう指導者の登録制度を設けます。

環境マップの作成

- ・実施時期 平成15年度完成予定。（13年度に作成委託の予定）
- ・実施方法 区内の大気汚染や水質汚染・騒音の状況、動植物の生息などをマップでお知らせします。
- ・予算額 500,000円
- ・問い合わせ 環境清掃部環境保全課（内線4117）

エコ・スタッフ制度

- ・目標定員 10,000名
- ・役割分担 環境に関して、地域やグループのリーダーとして登録してもらい、情報、意見の交換を行います。また、環境に配慮した行動を地域のなかに定着させる大きな役割を担っています。
- ・予算額 954,000円
- ・問い合わせ 環境清掃部環境保全課（内線4112）

【環境先進都市に向けた行動】

昨年11月、区を南北に走るコミュニティバス「すぎ丸」が運行しました。5台のうち1台は全国でも初めての天然ガス（CNG）車輛を導入しています。また、清掃車両にも導入しました。環境に与える負荷の少ない天然ガス車は、このほかにも区有車で台数を増やしています。

また、区自らもISO14001を新年度で取得予定で、いままで以上に環境に配慮していきます。区民とともに、昨年から始まったクリーン大作戦も継続していきます。

マイバッグコンテスト

- ・実施時期 平成13年10月開催予定
- ・実施方法 レジ袋の代替りとなる買い物袋を普及させるため、デザインコンテストを開催
- ・予算額 1,718,000円
- ・問い合わせ 環境清掃部清掃管理課（内線4133）

（仮称）エコ・メッセの開催

- ・開催時期 平成13年10月開催予定
- ・実施方法 エコライフを推進するため、民間企業などと協力した環境シンポジウムを中心としたイベントを開催します。
- ・予算額 10,000,000円
- ・問い合わせ 環境清掃部環境保全課（内線4112）

自然豊かな魅力あるまちを目指して

区の緑被率は昭和47年から平成9年の25年間で24%から18%と6ポイント減少しました。都市化の進展によりこれまで杉並のまちが維持してきた環境の快適性は失われつつあります。

みどり豊かな環境は、区民のいのちと健康を支える基盤となるものです。区は、都市の中の水辺とみどりをよみがえらせる施策を積極的に展開していきます。

【みどりの出発点として】

興銀柏の宮グランド（浜田山二丁目・面積4.3ヘクタール）を地域公園として整備するため、区民の皆さんと区と一緒に考え、互いに意見を交換しながら計画づくりを進めるワークショップ形式で延べ230名が参加し、「公園の計画づくりを考える会」を開催してきました。この結果「みんなの夢を自然の営みの中で育む公園づくり」をテーマとして、区民とともに雑木林をはじめとした多様な自然を保全し、広い広場を生かした区立最大の公園をつくっていきます。

（仮称）杉並南中央公園の用地取得経費及び設計の委託など

- | | |
|--------|------------------|
| ・開園予定 | 平成16年 |
| ・予算額 | 8,543,464,000円 |
| ・問い合わせ | 土木部公園緑地課（内線3445） |

（仮称）未来へ豊かな自然を育む森づくり

- | | |
|--------|---|
| ・事業内容 | 21世紀を担う新生児とその家族が中心となって植樹をし、区民が育むみどりの公園をつくる。 |
| ・予算額 | 7,000,000円 |
| ・問い合わせ | 土木部公園緑地課（内線3445） |

【みどりを育て、未来に残そう】

区では、みどりを未来に引き継ぐ共有の財産とし、公園など、公共のみどりを増やすとともに、住宅地の緑化を支援するなど、21世紀の杉並のみどりを創造していきます。

(仮称)みどりのリーダー制度の創設

・事業内容	区民が暮らしの中で花とみどりを身近に感じ、地域のみどりとして育ていくために、地域緑化のボランティア「(仮称)みどりのリーダー制度」を創設する。
・予定人員	100名
・予算額	500,000円
・問い合わせ	土木部公園緑地課 (内線3447)

個性ある公園づくり

・事業内容	玉川上水公園や井草森公園など、区内の公園に特色のある花木などを植え、区内に「花の名所」をつくる。(既に梅里地域では、地元町会が梅里を「梅の里」にしようと梅の名所づくりを行っている。)
・予算額	38,600,000円(個性ある公園づくり事業全体の予算額)
・問い合わせ	土木部公園緑地課 (内線3445)

学校のエコ・アップ

・事業内容	学校のエコ・アップとして区立小・中学校内にビオトープをついたり、校庭の緑地化を進める。
・予算額	24,000,000円
・問い合わせ	教育委員会事務局施設課 (内線1643)

区役所西棟9階バルコニー緑化工事

・事業内容	屋上緑化として区役所西棟9階バルコニーの緑化工事を行う。
・予算額	12,000,000円
・問い合わせ	総務部経理課 (内線1545)

誰にでもやさしいまちをつくるために

まちには、子どもからお年寄り、障害のある人など様々な人たちが暮らしています。核家族化が進行したため、子育てに悩む若いお父さんお母さんも増えています。高齢者世帯では将来の生活に不安を抱える人も多くいます。そんな不安を地域の中で取り除きながら、誰にでもやさしいまちをつくっていきます。

【支え合い、安心して共に生きるまち】

近年の急速な高齢化の進行により高齢者の人口構成の比率が高くなっています。これに伴って、介護を必要とする寝たきりや痴呆の高齢者が増えています。昨年4月、介護を社会全体で支える介護保険制度がスタートしましたが、介護保険サービスを利用するには一定額の自己負担が必要であり、低所得者からその負担軽減を求める声がありました。

区では、低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるように、低所得者の介護サービス利用者負担に対し助成を行います。

また、障害や高齢により、日常的なお金の管理が困難な方や将来にそうした不安を抱いている方々の支援施策を、「成年後見制度活用検討委員会」で検討してきました。新年度では、これらの方のため、地域での支援ネットワークづくりに取り組みます。

介護保険サービス利用者負担助成事業

- ・実施期間 平成13年度から16年度までの4年間
- ・対象者 保険料第1段階の「区民税世帯非課税者かつ老齢福祉年金受給者」利用者負担上限月額が15,000円まで減額されなければ、生活保護受給者になってしまう者。
- ・助成内容 利用者負担上限月額15,000円を3,000円に引き下げ、その差額を助成する。
対象は、居宅サービスと施設サービスのすべてのサービスとする。
- ・予算額 120名 13,720,000円
- ・問い合わせ 高齢者福祉部介護保険課（内線1337）

公衆浴場バリアフリー化改修費助成（風呂っと杉並）

- ・実施時期 平成13年4月から
- ・助成内容 公衆浴場を高齢者の集いと憩いの場として活用するために、必要な経費の一部を助成する。
- ・予算額 15,000,000円
- ・問い合わせ 高齢者福祉部高齢者活動支援センター (内線4316)

成年後見制度の活用

- ・事業内容 障害や高齢などで意志能力が不十分などのため福祉サービスの利用にあたり、一人で判断をすることに不安を感じている方、日常的なお金の管理が困難な方や将来にそうした不安を抱いている方々の支援をするため、地域での支援ネットワークづくりに取り組みます。
- ・予算額 10,240,000円
- ・問い合わせ 厚生部管理課 (内線1348)

【子どもたちをはぐくむまち】

区は男女が共に助け合い、子どもを産み育てることに夢を持ち、子どもたちの元気な声が響くまちづくりをめざしています。

そこで、区では来年度より児童館に子育てを支援するためのサロンを設置し、乳幼児を持つ保護者に仲間づくりや活動の場を提供します。

また、乳幼児保育の需要に応えるため、保護者の出勤や帰宅に便利な駅前保育を実施するとともに、保育士等の資格を持ったグループが乳幼児の保育にあたるグループ保育を始めます。

また、近年ますます深刻な事態に陥っている児童虐待を防止する対策として、子どもと家庭の総合相談機関である「子ども家庭支援センター」の運営充実を図っていきます。

子育てサロンの設置

- ・実施時期 平成13年10月開始予定
- ・実施方法 区立41カ所の児童館に設置。乳幼児を持つ方たちの子育ての悩みを解消するため、利用者同士の憩いのスペース、交流プログラム、職員による相談などを実施。
- ・予算額 16,400,000円
- ・問い合わせ 女性・児童部児童課 (内線1361)

駅前保育を開始

- ・実施時期 平成13年7月開始予定
- ・実施方法 13年3月末廃止の西荻サービスコーナーを利用、午前7時30分から午後8時30分までを定員01歳の27名で実施予定。運営は私立保育園の分園となる予定。
- ・予算額 88,300,000円
- ・問い合わせ 女性・児童部保育課（内線1372）

グループ保育を実施

- ・実施時期 平成13年10月開始予定
- ・実施方法 保育士等の資格を持つ区民のグループが、02歳児の保育にあたるグループ保育を実施。
- ・予算額 35,986,000円
- ・問い合わせ 女性・児童部保育課（内線1384）

子ども家庭支援センター運営充実

- ・実施方法 子どもと家庭の総合相談機関。福祉、保健、医療、教育分野と連携しながら、子育て相談、いじめ、虐待問題などについて対応。
- ・予算額 1,767,000円
- ・問い合わせ 女性・児童部児童課（内線1361）

IT推進による行政・地域の情報化

IT（情報技術）による情報通信ネットワークのめざましい進展は、社会に大きな影響をもたらしています。行政も、この技術を取り入れ、より多くの区民のニーズに対応した幅広いサービスを提供していくことが求められています。特にインターネットは、普及率や技術の向上が著しいメディアであり、区でもさまざまな活用を検討して進めていきます。

また、社会的なIT化による多くの区民の情報学習ニーズに応えるため、ボランティアなどの協力を得ながら、IT講座を開きます。

【電子区役所の構築】

1 幅広い区民サービスをめざして

インターネットなど情報通信ネットワークを活用することで、多様なニーズに応えた幅広いサービスを展開し、区民サービスの向上をめざします。

その一つとして、4月より自動交付機を設置し、「住民票の写し」、「印鑑登録証明書」、「税証明書」の交付を行います。この自動交付機は、休日にも開いている施設に設置するため、平日はもちろん、土曜・日曜・祝日の夜間でも証明書等が取れるようになります。また、これらの事務は、出張所事務処理件数の60%弱を占めるもので、事務処理の効率化にもつながります。

図書館においても、インターネットを利用して図書館にある本の検索ができるサービスを始めるほか、リクエストやリファレンス対応についても平成14年度以降、実施します。

また、情報収集の格差が区民に生じないようにするため、区立施設にインターネット機器を設置し、区のホームページを自由に閲覧できるようにします。

自動交付機の設置

- | | |
|---------|--|
| ・事業内容 | 区の既存施設14カ所に自動交付機を設置し、「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」、「税証明書」（10月から開始予定）の交付を開始。 |
| ・事業開始時期 | 平成13年4月2日 |
| ・予算額 | 76,998,000円 |
| ・問い合わせ | 地域振興部地域振興課（内線3763） |

図書館情報化の推進

- ・事業内容 インターネットを活用した書誌データ検索システムの開発
- ・予算額 12,286,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局（内線1610）

インターネット機器設置

- ・実施方法 区のホームページを自由に閲覧できるようにするため、区立施設にインターネット機器を設置。
- ・箇設置所数 14所
- ・予算額 1,668,000円
- ・問い合わせ 企画部区政情報課（内線3208）

2 区政へのインターネット活用

従来の区政モニターとは別に電子メールを利用する区政モニターアンケートを行うことで、今まで区政に参加しにくかった、仕事や子育てに忙しい方や若い世代、または身体に障害があって外出しにくい方など幅広い層からの意見が期待されます。

また、従来の行政実態調査では、紙で調査票を作成し、回収していましたが、急を要する区政の課題等について、インターネットを通じてすぐに区民の意見や要望を伺い、区の施策に反映させていく即時性が期待されます。

インターネット区政モニター

- ・実施方法 電子メールを利用して区政モニターアンケートを実施
- ・対象 50名
- ・実施回数 年2回
- ・問い合わせ 企画部区政相談課（内線3215）

インターネット区民意向調査

- ・実施方法 インターネットを利用して行政実態調査を実施
- ・対象 500名
- ・調査回数 年2回
- ・予算額 2,936,000円
- ・問い合わせ 企画部区政相談課 (内線3215)

3 インターネット映像配信

次の(1)と(2)を試験的に実施し、映像配信による区政のインターネット活用の可能性を広げていきます。

(1) ネット・アニメミュージアムの創設

「アニメの杜すぎなみ構想」の一環として、ホームページ上でアニメーションの配信をしていきます。このページでは、新年度に開催が予定されている「アニメーションフェスティバル2001 in 杉並」でのコンペティションへの応募作品などを配信していきます。また、区内外のアニメーション作家の作品を紹介し、区内のアニメーションスタジオや作家に「発表の場」を提供します。

(2) 講座等のネット放映

保健センター等で行う高齢者向けの栄養講座など(35分間程度)を配信します。外出しにくい高齢者などが、自宅にいても興味のある講座を、好きな時間に見ることができます。

- ・ インターネット映像配信

- ・予算額 5,001,000円
- ・問い合わせ 企画部広報課 (内線1501)

【区民向けIT学習講座】

多くの方がIT習得を必要としています。そのニーズに応えるため、地域で身近に学べるIT講座を開きます。講座の実施には、多くの講師が必要となるため、ボランティアや民間企業にも協力していただきます。さらに、区内在住・在勤・在学でパソコン知識のある方に「ボランティア・バンク」へ登録してもらい、パソコン講座の講師や補助講師として活動していただきます。

IT講習（パソコン講座）

- ・事業内容 13年度、国のIT推進政策に基づき、IT基礎講習を実施。NPOや民間会社からの講師派遣による講習を開催するほか、ボランティアバンクの人材も活用。
- ・講座数 778講座
- ・定員 15,500人
- ・会場 34カ所程度（小・中学校を除く）
- ・予算額 143,927,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局社会教育スポーツ課（内線1669）

小・中学校のパソコン室を利用したパソコン講座

- ・実施方法 小・中学校新規に4校、合計8校のパソコン室を利用して、教員やボランティアなどによるパソコン講座を実施。
- ・予算額 6,122,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局指導室（内線1652）

- ・実施方法 学校のパソコン室を利用して、社会教育団体などによるパソコン講座を実施。
- ・予算額 731,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局社会教育センター（内線4712）

【情報教育の推進】

ITに対応した情報教育を推進するため、小・中学校全校でインターネットを接続します。

学校インターネットの推進

- ・実施方法 小・中学校全校（新規55校）にインターネットの配備
- ・予算額 56,060,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局指導室（内線1652）

「みどりの産業」で地域の活性化を

杉並区は住宅地のイメージが強い地域です。しかし、産業構造の変化によって、都心から適度な距離にある住宅地こそが、個人の創造力を生かし、インターネットなどITの威力を活用する新産業の基地になりつつあります。

区では、環境との共生が可能で、かつ、杉並の地域性と潜在能力を引き出せる産業を「みどりの産業」と名づけ、支援していきます。このような積極的な支援策によって地域の活性化を図り、さらには杉並から新しい経済の流れを起こすことを目指します。

【女性起業家を支援します】

現在、情報産業の発展によって、個人の創意工夫次第でSOHO（情報通信ネットワークを使った小規模オフィス）などによる起業が可能になっています。そのため、杉並のような住宅地が新産業の拠点として脚光を浴びるようになりました。

このような状況のもと、女性がビジネスを起こして大きな成功を収めるケースが増えています。子育てを終えた主婦層などで、もう正式な会社勤めはしたくない（または、できない）場合でも、在宅のままでも起業できるところが大きな魅力。杉並区は住民意識の高い住宅地であり、現在も多くの主婦層を抱えているため、SOHOのメッカとなる可能性を秘めています。

そこで区では新年度から、女性を対象にした起業セミナーを開催します。能力のある女性たちを支援し、一人一人の持っている才能を引き出すことによって、地域経済の活性化をねらいます。

女性のための起業セミナー・事業計画作りセミナー・経営診断セミナー

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・事業内容 起業に成功した女性起業家を講師に、これから起業をしてみたい人、もう事業内容が固まりつつある人、すでにビジネスに携わっている人の3段階のセミナーを開催する。・開催時期（予定） 年各5回・予算額 993,000円・問い合わせ 女性・児童部児童課（内線1361） |
|---|

【「みどりの産業」の育成・支援】

日本のアニメ産業は、世界から注目を集めています。なかでも杉並区には、約50社のアニメ・スタジオが存在し、今や全国でも最大のアニメのまちとなりま

した。アニメ産業は知識集約型の情報通信産業で、今後の地域活性化に寄与する大きな可能性を持っています。そこで、区ではアニメ産業の振興を図るため、平成13年1月に「アニメの杜すぎなみ構想」を策定しました。この構想に基づき、アニメ産業関係者と杉並区の共催で、アニメ・フェスティバルを開催します。区としては、情報交換や交流を目的とした組織の立ち上げなども視野に入れながら、積極的にアニメ産業を支援していきます。「アニメの杜すぎなみ構想」の実現を通して、杉並の地域特性を生かし、日本のアニメ産業全体の振興にも貢献できる方途を探ります。

また、新年度には、発展性のある「みどりの産業」をさらに発掘するために「産業実態動向調査」、「商業経営環境調査」も実施します。

アニメーションフェスティバル2001 in 杉並

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ・事業内容 | アニメ産業関係者と区の共催で、新しい事業展開や情報交換を促進する。 |
| ・開催時期(予定) | 平成13年4月28、29日 |
| ・会場 | セシオン杉並ほか |
| ・問い合わせ | 生活経済部経済勤労課 (内線1328) |

産業実態動向調査・商業経営環境調査

- | | |
|-----------|--|
| ・調査目的 | 新しい産業の創設を促すための産業振興計画に反映させる。地域経済の活性化に具体的に役立てられる調査内容を予定。 |
| ・実施時期(予定) | 平成13年4月8日 |
| ・問い合わせ | 生活経済部経済勤労課 (内線1328) |

上記事業に関わる予算額の計 20,000,000円

学校に活力をうむ教育改革を進めるために

平成12年4月から実施された地方制度改革によって、杉並区は基礎的自治体となり、個性ある教育を創り出すことが可能になりました。その一方、いじめ、不登校、青少年犯罪など教育に関する問題が山積し、教育のあり方は今、大きな転換期を迎えています。山積する問題を解決するためにも、杉並らしい魅力ある教育を創出することが求められています。

そこで区では、教育委員会が地域に開かれ、活力ある教育を推進する取り組みを支援するために、必要な仕組みを構築していきます。

【地域に開かれた学校を目指して】

今日、教育が抱えている問題を解決するためには、家庭、地域、学校が連携して子どもを育てる視点が求められています。

そこで平成13年度には、杉並における具体的な教育改革メニューを体系化する「教育改革アクションプラン」の策定・推進作業を行います。

また、校長が保護者や地域の人たちから学校運営への意見を積極的に求めることのできる、学校評議員制度を区立の小中学校全校に導入します。地域の声を把握しながら学校教育の活性化を図り、地域の中で子どもたちの教育を行うことをねらいとします。

さらに、それぞれの学校が、創意工夫を図りながら特色ある学校づくりを進めることができるように予算の配分を行いました。試行される「総合的な学習の時間」制度を活用して、子どもたちにとって魅力ある学校づくりに努めます。

教育改革アクションプランの策定・推進

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・事業内容 未来を担う子どもたちが、楽しく学び、思いやりの心とたくましく生きる力を育むことのできる教育を推進するため、教育を実践的に改革するアクションプランを策定する。・策定期限 新年度前半をめどに、専門家の意見も聴きながら策定する予定。・予算額 1,374,000円・問い合わせ 教育委員会事務局庶務課 (内線1611) |
|--|

学校評議員制度

- ・制度概要 1校10名程度、学校の運営に関して意見を述べる評議員を委嘱する。
- ・予算額 816,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局指導室 (内線1652)

特色ある学校づくり

- ・事業内容 「総合的な学習の時間」などのさまざまな活動を通し、子どもたちが社会自然とふれあい、体験し、その個性や創造的能力を伸ばすことのできる、特色ある学校づくりを進めていくため、各校からの意欲的な企画案を募り、支援する。
- ・予算額 10,000,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局指導室 (内線1652)

【適応指導教室の充実】

不登校の生徒に対して、学校復帰への援助を行うため、現在ある「さざんか教室(通称)」に加え、1か所増設します。

適応指導教室の増設

- ・開設予定 平成13年9月
- ・事業内容 廃止となる和田出張所の一部を改修して開設。
- ・予算額 7,312,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局指導室 (内線1652)

8 「スマートすぎなみ計画」の実施

11年度の経常収支比率が95.8%に達するなど硬直化が一段と進んでいる区財政の危機を克服するため、12年度は「行財政再建緊急プラン」を作成し、内部努力の徹底、事務事業の見直しや歳入の確保に取り組むなど行政改革の推進を図りました。引き続き13年度からは「スマートすぎなみ計画」に基づき行財政改革を着実に実行していくことになります。

行財政改革による財源確保額は、29億1500万円
計画目標額に対する予算への反映額の比率は84.7%
未収入金の解消や新税の創設にかかる自主財源の確保は除く

内部努力の徹底

出張所の廃止、公共料金支払基金の縮小、用品調達基金の廃止、公社等の経営改善、さらには、職員定数の見直し等による人件費の削減に努めました。

歳入の確保

受益者負担の適正化に努め、道路・公園占用料等の見直しを行うとともに、区有地の有効活用策として、未利用地の売却・駐車場としての貸し付けを行い、歳入の確保に努めます。

施策の見直し

施策の選択や優先順位の明確化を図る中で、行政の守備範囲や民間との役割分担を見直し、民間委託や非常勤化等による施策の見直しに努めました。

行政改革項目一覧

(単位：百万円)

区 分	財 政 効 果
1 内部努力の徹底	1,401
組織・機構等の見直し	745
職員定数の削減と適正管理	43
職員関係費の削減	87
管理的経費の削減	370
施設の有効活用と適正配置	
公社等の統廃合と経営改善	79
その他	77
2 歳入の確保	256
未収入金の解消	
受益者負担の適正化	108
区有財産の有効活用	148
財政運営の改善	
自主財源の確保	
3 施策の見直し	1,250
施策の選択・再構築	6
民間委託・事業の民営化の推進	73
補助金・分担金等の見直し	50
事務事業の見直し	978
区民サービスの向上	
行政評価制度の確立	
その他	143
4 その他	8
合 計	2,915

9 特別会計

(1) 国民健康保険事業会計

保険給付費が伸び、老人保健医療費への拠出金が増額となっています。

- ・ 規模 376億4678万9千円(対前年3,462,623千円増)
- ・ 被保険者数 194,781人(対前年4,139人増)
- ・ (歳入) 保険料 157億9397万7千円(対前年573,825千円増)
- ・ (歳入) 一般会計繰入金 52億4316万8千円(対前年1,178,374千円増)
- ・ (歳出) 保険給付費 221億9298万2千円(対前年1,205,363千円増)

・(歳出)老人保健拠出金 123 億 6868 万 7 千円 (対前年 2,207,391 千円増)

(2) 老人保健医療会計

介護保険への移行が予測を下回っているため、医療給付費は増額となっています。

- ・規模 478 億 6571 万 5 千円 (対前年 3,420,430 千円増)
- ・対象者数 60,900 人 (対前年 2,000 人増)
- ・(歳入)一般会計繰入金 25 億 3514 万 4 千円 (対前年 180,086 千円増)

(3) 用地会計

12 年度に(仮称)杉並南中央公園用地を取得した際に起こした先行用地取得債によって、会計規模が増大しています。

- ・規模 92 億 6715 万 2 千円 (対前年 8,487,593 千円増)

(4) 介護保険事業会計

介護保険事業計画に基づき保険事業の運営を行っています。

- ・規模 191 億 4783 万 7 千円 (対前年 2,173,338 千円増)
- ・第 1 号被保険者数 87,020 人 (対前年 1,876 人増)
- ・保険料基準月額 2,940 円
- ・要介護等認定者数 10,865 人 (対前年 316 人増)
- ・(歳入)介護保険料 24 億 8475 万 3 千円 (対前年 1,671,229 千円増)
- ・(歳入)一般会計繰入金 25 億 3616 万 1 千円 (対前年 313,866 千円増)
- ・(歳出)保険給付費 187 億 6130 万 2 千円 (対前年 2,454,289 千円増)

国の特別対策により、第 1 号被保険者の保険料については平成 12 年 4 月～9 月までは徴収せず、12 年 10 月～13 年 9 月までは 1/2 を徴収します。

平成 13 年 度 財 政 計 画

単位：百万円

歳		入				
区	分	平成13年 計 画 額	平成12年 計 画 額	差引増減額	前年比 (%)	構成比 (%)
一 般 財 源	特別区税	55,177	53,848	1,329	102.5	38.0
	地方譲与税	906	877	29	103.3	0.6
	利子割交付金	3,400	3,700	300	91.9	2.3
	地方消費税 交付金	4,800	4,230	570	113.5	3.3
	自動車取得税 交付金	876	920	44	95.2	0.6
	地方特例 交付金	5,161	5,044	117	102.3	3.6
	特別区財政 交付金	27,500	26,863	637	102.4	19.0
	交通安全対策 特別交付金	84	88	4	95.5	0.1
	繰越金等	2,970	10,161	7,191	29.2	2.0
	特別区債	1,400	1,500	100	93.3	1.0
		102,274	107,231	4,957	95.4	70.5
特 定 財 源	国・都支出金	15,991	13,481	2,510	118.6	11.0
	特別区債	6,480	700	5,780	925.7	4.5
	その他	20,303	19,627	676	103.4	14.0
		42,774	33,808	8,966	126.5	29.5
		145,048	141,039	4,009	102.8	100.0

(単位：百万円)

歳		出				
区	分	平成13年度 計画額	平成12年度 計画額	差引増減額	前年比 (%)	構成比 (%)
職員人件費		43,916	44,335	419	99.1	30.5
	職員分	41,991	42,487	496	98.8	29.1
	嘱託員分	1,925	1,848	77	104.2	1.3
公債費		9,979	9,265	714	107.7	6.9
既定事業		74,584	69,700	4,884	107.0	51.7
	一次経費	63,944	54,222	9,722	117.9	44.4
	政策的経費	2,422	3,793	1,371	63.9	1.7
	新規経費	3,053	1,217	1,836	250.9	2.1
	単年度経費	4,151	9,816	5,665	42.3	2.9
	投資的経費	1,014	652	362	155.5	0.7
新規・臨時事業		1,162	11,452	10,290	10.1	0.8
投資事業		14,517	5,436	9,081	267.1	10.1
歳出予算計		144,158	140,188	3,970	102.8	100.0
財源 保留額		890	851		104.6	
		890	851	39	104.6	
計		145,048	141,039	4,009	102.8	